

# 災害廃棄物（がれき）の受け入れを開始しました



## 受け入れの経緯

東日本大震災による被災地の災害廃棄物（がれき）処理が復興の大きな問題となっていることから、大仙市と美郷町が構成団体となっている大仙美郷環境事業組合では、この処理受け入れについて処理施設が所在する大仙市先導のもと検討を重ねてきました。平成24年1月30日に開催された組合議会全員協議会において、被災地支援のため受け入れることを大仙美郷環境事業組合管理者が表明しました。

平成24年2月7日には、秋田県と岩手県において「災害廃棄物の処理に関する基本協定書」が締結され、更に3月8日に「災害廃棄物の処理に関する覚書」を締結、平成24年3月23日には秋田県と大仙美郷環境事業組合が災害廃棄物（がれき）処理に関する業務委託契約を締結しました。

これを受けて、平成24年3月26日から3月29日までの間、安全性を確認するため大仙市花館の大仙美郷クリーンセンターの焼却施設において試験焼却と、大仙市南外の一般廃棄物最終処分場への埋立処理を実施しました。

その結果、事前調査や試験焼却、事後調査においての空間放射線量や放射性物質濃度等はいずれも基準を下回り、秋田県において観測されている通常レベルと同程度となりました。

また、処理施設周辺の住民の理解が得られたことや試験焼却の結果について、平成24年4月20日に開催された組合議会全員協議会で説明があり、災害廃棄物（がれき）の本格受け入れを平成24年4月23日から開始する旨を大仙美郷環境事業組合管理者が表明しました。

処理される災害廃棄物（がれき）の量は、1日10トン。2年間で最大5,200トン进行处理する計画です。

### 1 事前調査

3月13日、災害廃棄物の放射性セシウム濃度や宮古市藤原ふ頭内の選別・破碎エリアの空間放射線量率、エリア境界のアスベスト濃度などを測定。いずれも「秋田県における災害廃棄物の処理に関するガイドライン」に定める目安値を大幅に下回りました。

### 2 試験焼却

3月26日から28日まで、一般公開の中、試験焼却が行われました。19.75トンのがれきが一般ごみ134トンと混合され、48時間かけて焼却されました。焼却後には焼却灰中の放射性セシウム濃度を測定。がれき混入前とほぼ同じ数値となり、安全性が確認されました。

### 3 事後調査

4月5日には、焼却施設と最終処分場内、両施設境界の空間放射線量率や周辺地下水の放射性物質濃度などを測定。試験焼却前とほぼ同じ数値となりました。

**本格受け入れ開始前に安全性を確認するため実施した調査結果は、11ページのとおりです。**

## 1 宮古市での事前調査結果

### ① 災害廃棄物の放射性セシウム濃度

(単位:Bq/kg)

セシウム134	セシウム137	合計値	秋田県ガイドライン目安値
2.8(2.3)	3.2(2.8)	6.0	100を超えないこと

※カッコ内は検出下限値(その分析方法で検出できる最低濃度)

### ② 選別・破碎処理後の災害廃棄物のPCB濃度

(単位:mg/ℓ)

PCB濃度	秋田県ガイドライン目安値
不検出(0.0005)	0.003以下

※カッコ内は検出下限値 ※PCB:ポリ塩化ビフェニル化合物

### ③ 選別・破碎処理エリアの敷地境界のアスベスト濃度

(単位:本/ℓ)

総繊維数濃度	秋田県ガイドライン目安値
0.113	10を超えないこと

## 2 大仙美郷クリーンセンター(大仙市花館)及び周辺土壌等での調査結果

### ① 焼却灰の放射性セシウム濃度

(単位:Bq/kg)

		セシウム134	セシウム137	合計値	秋田県ガイドライン目安値
主灰 (燃え殻)	事前調査(3/15)	不検出(7.0)	不検出(8.1)	不検出 不検出	8,000を超えないこと
	試験焼却(3/27)	不検出(8.8)	不検出(7.2)		
飛灰固化物 (ばいじん)	事前調査(3/15)	10(10)	25(9.0)	35	
	試験焼却(3/28)	14(9.9)	23(7.6)	37	

※カッコ内は検出下限値

### ② 敷地境界の空間放射線量率

(単位:μSv/h)

	敷地境界	バックグラウンド	秋田県の通常レベル
事前調査(3/15)	0.04~0.05	0.03~0.04	0.03~0.09
試験焼却(3/27)	0.05	0.04	
事後調査(4/5)	0.04~0.05	0.04	

※バックグラウンド:測定対象の影響を受けない十分に離れた地点

### ③ 周辺地下水の放射性セシウム濃度

(単位:Bq/ℓ)

	セシウム134	セシウム137	合計値	飲料水の基準
事前調査(3/15)	不検出 (0.56~0.67)	不検出 (0.54~0.56)	不検出	10を超えないこと
事後調査(4/5)	不検出 (0.62~0.63)	不検出 (0.51~0.53)	不検出	

※カッコ内は検出下限値

## 3 最終処分場(大仙市南外)及び周辺土壌等での調査結果

### ① 敷地境界の空間放射線量率

(単位:μSv/h)

	敷地境界	バックグラウンド	秋田県の通常レベル
事前調査(3/15)	0.02	0.02~0.03	0.03~0.09
事後調査(4/5)	0.01~0.03	0.02~0.03	

### ② 周辺地下水及び防災調整池放流水の放射性セシウム濃度

(単位:Bq/ℓ)

	セシウム134	セシウム137	合計値	秋田県ガイドライン目安値
事前調査 (3/15、16)	不検出 (0.35~0.43)	不検出 (0.43~0.47)	不検出	(セシウム134÷60)+(セシウム137÷90)の 値が1以下
事後調査 (4/5)	不検出 (0.47~0.56)	不検出 (0.48~0.51)	不検出	

※カッコ内は検出下限値